第11回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)四国

夢へ、まず一歩

四国の学生による新事業提案コンテスト

メッセージ

若者の潜在力に期待

四国経済産業局長　寺嶋 充 氏

第11回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）四国において、各賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

多数の応募の中から選ばれた皆さまのビジネスプランは、生活・健康や地域産業の活性化、更には企業の防災対策などのさまざまな課題について、若者らしい新鮮な視点と独創的なアイデアで挑戦する大変素晴らしい内容のものでした。そして、皆さんのプレゼンテーションに、自らの思いを実現したいという強い意志を感じ取ることが出来ました。「豊かな発想と強い意志」は、新たな価値の創造に欠かせません。一層の研さんを重ね、こうしたアイデアや着眼点が新たなビジネスとして結実されますことを期待しております。

わが国経済は、回復への明るい兆しが出てきました。こうした流れをより確実なものとし、わが国経済が再生し発展するためには、創業などによる産業の新陳代謝、ベンチャー企業の育成、成長産業分野の創造などへの取り組みとともに、わが国が世界に誇る最大の資源である「人材」がその持てる能力をいかんなく発揮し挑戦することが重要です。

若い皆さまは、非常に高い潜在力を持っています。皆さまの創造力がこれからの日本を変えていく大きな原動力となります。常に高い志とチャレンジ精神を持って多様な分野に挑戦し活躍されることを期待しております。

特別賞　日刊工業新聞社賞

警報機能付き点字ブロックの開発

阿南工業高等専門学校
仲尾 直樹さん
藤本 康平さん
中 章圭さん

代表の仲尾さん

点字ブロック上に自転車が駐輪され、通行が妨げられることがしばしばあるということを、目の不自由な方に注意喚起するとともに、周りの人々の意識が改善され、点字ブロック上に障害物を置かないという意識が高まる。

仕組みは、点字ブロックに圧電素子を組み込み、そこに加えられた力を電圧としてマイコンに送る。マイコンが圧電素子から一定時間電圧を受け取ると、スピーカーから警報音が流れる。マイコンが電圧を受け取り、警報音を鳴らすまでの時間は40―60秒を想定するため、歩行者には反応しない。警報音の音量や流れる時間は任意に設定ができる。

太陽電池を搭載することで外部電力は不要。強度や雨水対策として、表面に強化ガラスやゴアテックスを用いることもできる。

特別賞　四国産業人クラブ賞

紙キラー

新居浜工業高等専門学校
大上 友菜さん

紙キラーは柔らかい繊維が不規則に絡み合ったペーパータオルで、ガラス表面の微小なすき間に入り込み、カビや汚れを拭き取ることができる。微生物が成長する栄養源になる可能性があるアルコールなどの有機物を含まず、窓ガラスにカビを増殖させないために役立つとしている。窓ガラス表面のカビを防ぐには、清潔なぬれ雑巾で拭き取るのが有効。しかし汚れが付着したまま拭き続けると、新たな場所にカビの胞子を付着させてしまうだけでなく、水分の付着がカビの増殖にとって好条件となる可能性がある。今後はサンプルを作成し、需要があると見込む保育所や幼稚園、老人ホーム、病院などに配布。フードバックされたデータをもとに開発を重ね、関連する基本特許や周辺特許、意匠権を取得する計画。販売価格は、フェースタオル程度の大きさが3枚入りで100円を想定。地元の愛媛県東予地区は製紙業が盛んで、生産・パッケージングは地元製紙会社に委託したいとする。

第11回キャンパスベンチャーグランプリ四国では10件の優秀プランを表彰した（2月7日、高松市内のホテルで）

講評

地道な研究 成果実る

発想力と可能性を評価

審査委員長　松木 則夫

第11回キャンパスベンチャーグランプリ四国では、34件の応募が大学、高等専門学校からあり、第一次審査を通過した10件について2月7日にプレゼンテーションによる最終審査が行われました。

ビジネス部門最優秀賞（四国経済連合会会長賞）を受賞した、高知大学の房前尊盛さんの「廃棄アマノリ再利用事業『Exhuming Porphyra』」は、色落ちして商品価値のない廃棄アマノリを飼料として、磯焼けの原因として駆除されているウニを商品に育てるというビジネス提案でした。通常、廃棄されてしまう海産品が、新たな商品として生まれかわるかもしれないという発想と可能性が審査委員に高く評価されました。

飼料化について大学で取り組んでいるとのことで、日ごろの研究成果が受賞に結びついたものと思います。

テクノロジー部門最優秀賞（四国経済産業局長賞）を受賞した、新居浜工業高等専門学校の髙橋浩二郎さんの「逆ミセル抽出法を用いたタンパク質の分離・精製プロセス」は、高価なタンパク質試料を新発想の装置で作成するという、これも地道な研究の成果でありました。

このほか、顔写真表の自動作成、酵素パワーで料理革命、紙によるカビ駆除など、今回も新しい発想による提案がなされ活気に満ちた審査会となりました。

佳作

新居浜工業高等専門学校
森本 将行さん

【テーマ】微生物固定化人工ゼオライト

愛媛県は製紙業が盛んな地域のため、廃棄物である製紙スラッジも大量に発生する。そして、その処理が問題となっている。

今回提案したプランでは、たい肥や土壌改良、汚泥の洗浄、コンポスト化に有効な微生物を吸着させた人工ゼオライトを製紙スラッジから製造する。人工ゼオライトは、製紙スラッジ焼却灰をカセイソーダなどで化学処理を行って製造する方法をとる。

微生物には糸状菌を使用し、微生物培養槽に人工ゼオライトを入れて長時間かき混ぜる。その後、沈殿した微生物固定化ゼオライトを取り出して減圧乾燥する。

新居浜工業高等専門学校
小林 慶陽さん

【テーマ】携帯型「発汗量及び必要水分量」計測装置の販売事業

計測装置は、皮膚電位を計測する電極を皮膚に貼り付け、皮膚電位測定法により発汗量を算出する。

マイコン制御の計算装置では、発汗量と使用者の年齢や体重などをもとに、体内水分量や必要水分量を計算する。体内水分量が不足した場合に、表示装置と音声で使用者に必要な水分摂取量を知らせることで、スポーツ中の脱水症状を未然に防ぐ。形状は腕時計のようなものを想定し、違和感なくスポーツを楽しむことができる。

香川大学
白髪 晃佳さん
小枝 亮太さん
小林 勝彦さん

【テーマ】四国地域の中小企業を災害から守るWebサイト「ユニティSHIKOKU」

代表の白髪さん

Webサイト「ユニティSHIKOKU」では、四国地域のBCP（事業継続計画）策定に興味がある中小企業を対象としたビジネスマッチングを行う。会員登録制で、BCP未策定企業と策定済み企業の情報交換の場とし、資金力の乏しい中小企業でもBCP策定がしやすい環境を提供する。会員企業はBCP策定を通じて企業価値を高める。

さらに会員企業同士のビジネスマッチングを促進することで、企業間取引が活発化し、四国地域の経済力向上にもつながる。

徳島大学大学院
髙松 朋輝さん
高瀬 健太さん
伊藤 拓海さん
三宅 浩平さん

徳島大学
川上 翔さん
古舞 謙太さん
河野 正樹さん
市原 拓巳さん
長谷 真理子さん

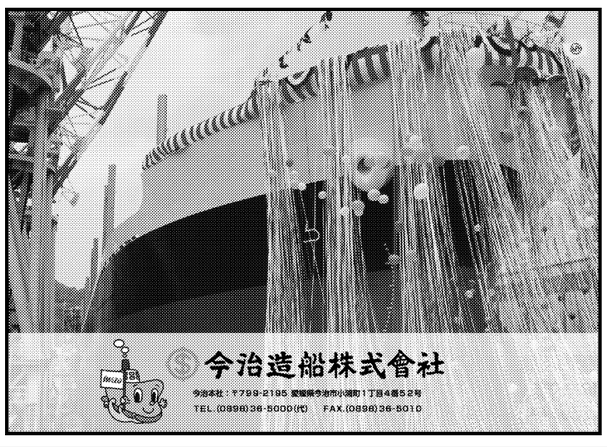
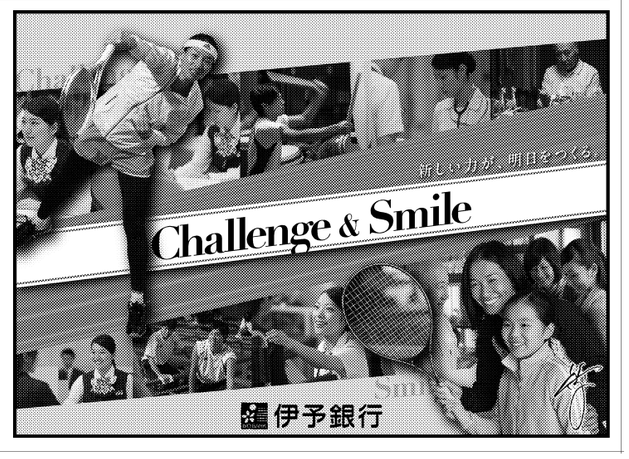
徳島文理大学
矢部 若菜さん

【テーマ】アニメキャラと一緒に街を巡ろう！！！AR技術を利用した集客事業

代表の髙松さん

AR（拡張現実）とは、スマートフォンなどを用いてモノや空間に設置されたマーカーを読み取ることで、実際には存在しない3D映像などをスマートフォンの画面上に表示する技術。

プランは、オリジナルアニメを制作し、地域の中心となるスポットや周辺の店舗に、アニメに関連するARマーカーを設置。周辺一帯を観光地化し、最終的には店舗の集客に役立てる。アニメの制作は、全国の学生からシナリオやキャラクターデザインの募集を行う。

第11回 キャンパスベンチャーグランプリ四国 審査委員各氏(敬称略)

審査委員長	産業技術総合研究所 四国センター所長	松木 則夫
審査委員	四国経済産業局 地域経済部長	橋本 智之
	テクノネットワーク四国 事業本部長	酒井 一夫
	伊予銀行 ソリューション営業部部長	山本 憲世
	鎌長製衡 代表取締役	鎌田 長明
	中小企業基盤整備機構 四国本部 企画調整部長	鈴木 久雄
	四国総合研究所 取締役企画営業部長	赤股 義高
	技研製作所 執行役員 新工法企画部部門リーダー	田内 宏明
	タダノ 技術研究所 所長	多田野 有司
	山内特許事務所 所長	山内 康伸